

## 2023年度 活動実績（職務執行状況）

予定	名称	主な内容	出席者、職務執行状況
4月	25 監事会 京橋 オフィス	2022年度 業務執行/事業活動の監査 2022年度 計算書類の監査	谷詔監事、服部監事 山本専務理事、事務局
5月	10 研究助成 募集開始	締切6月16日、審査7/1～8/19	審査員：選考委員6名、研究会委員長5名
	12 研究助成 成果発表会 御茶ノ水	2021年度採択 研究助成成果報告	研究助成報告者 遠藤理事長、齋藤選考副委員長 等 計8人
	30 第27回 理事会 御茶ノ水	2022年度 事業報告・計算書類報告 評議員会に提案する議案の決議	遠藤理事長、新庄・森田副理事長、山本専務理事 等 計10名(総数12)、谷詔・服部監事
6月	14 第12回 評議員会 御茶ノ水	2022年度 事業報告・計算書類報告 財団名称変更、役員等員数変更 など	臼井会長、新村・前川副会長等11名(総数14) 遠藤理事長、山本専務理事、谷詔・服部監事
	22 内閣府提出	2022年度事業報告・計算書類、役員等	事務局
8月	25 企画委員会 市ヶ谷	定款変更検討、資産運用規定変更検討 フェロー制度決定、第11期研究会検討 等	大島委員長、遠藤、新庄、森田、山本
9月	7 研究助成 選考委員会 オンライン	2023年度 研究助成採択者の選考 2024年度 奨励賞の選考準備	森田委員長、齋藤副委員長、渡邊委員、 湯浅委員、田口委員
	21 理事会（決議の省略）	2023年度 研究助成採択者の決定	理事12人及び監事2人全員から書面で入手
11月	12   14 第1回ATFコンファレンス 八ヶ岳	招待講演、奨励賞授与式、5研究会 研究助成成果発表、役員等ディスカッション	招待講演＝小泉氏、川合氏、藤井氏 役員等合計79人
12月	20 理事会（決議の省略）	11期研究会、定款変更、資産運用規定変更	理事12人及び監事2人全員から書面で入手
1月	25 評議員会（決議の省略）	定款変更	評議員14人全員から書面で入手
	31 企画委員会 市ヶ谷	2024年度事業計画、収支予算、資金・投資 6月改選役員等候補検討 等	大島委員長、遠藤、森田、山本、中島
2月	15 奨励賞選考 オンライン	2024年度採択者選考（理事会推薦者）	森田委員長、齋藤副委員長等 委員計5人
3月	4 第28回 理事会 御茶ノ水	2024年度 事業計画及び収支予算 特定資産繰入、奨励賞、謝金規定変更等	遠藤理事長、新庄・森田副理事長、山本専務理事 等 計11名(総数12)、谷詔・服部監事
	7 内閣府提出	2024年度事業計画、収支予算、資金・投資	事務局

### 研究会活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ナノメカニクス		24 御茶ノ水						12-14 八ヶ岳					
ナノカーボン				5-6 熱海							27-28 湯河原		
スピントロニクス										3-4 鳥羽			
バイオ単分子											19-20 白浜		
界面ナノ科学													28-29 鳥羽

刊 行 物	4月	ATI NEWS	第35号	印刷 180部
	7月	研究報告書	2022年度 活動報告	印刷 120部
	11月	財団30年小冊子		印刷 120部

## 第1回 ATF コンファレンス 開催記

第1回 ATF コンファレンスが11月12日(日)~14日(火)、ロイヤルホテル八ヶ岳にて開催されました。財団設立30年の節目にあたり、設立趣意を振り返り、より幅広い交流の機会を設ける為に、研究会員、評議員、理事と財団関係者全員を対象とし、さらに外部の講演者、奨励賞授賞者、研究助成採択者も招待いたしました。参加者80名、参加率70%以上と大勢が集まり、招待講演、専門研究講演、参加自由な研究会、そして深夜まで続いた意見交換会と、活発でとても有意義な2泊3日の交流となりました。

冒頭に遠藤守信理事長から挨拶がありました。

当財団は1993年の設立以来、我が国の科学技術振興への貢献を目指し、これまで過去30年にわたって成果を蓄積して参りました。社会環境の変化や科学技術界の要請を考慮し、未来を見据えた事業として、当ATFコンファレンスを新たに展開いたします。斯界で活躍する広範な研究者、技術者が一堂に会して分野を越えて交流や議論を深め、新鮮な出会いで相互に科学的刺激を交換し、また若手研究者など人的資源の育成・開発にも資することを目的としています。



ここでの多次元の研究者交流や絆の構築が、ご参加の皆様のご将来の発展に繋がりますよう、有効なプラットフォームとして機能するよう努めて参ります。豊かな人的交流で知の交換・継承の促進等の一助になると期待しています。そしてこのプラットフォームにおいて、イノベータのDNAのC.クリステンセン教授の言う『ネットワーク力』の強化や、マーク・グラノベッター博士の提唱する『Strength of weak ties (弱い紐帯の強み)』に繋がる良き機会が、ご参加の皆様にご提供される場になることを念願しています。



関係各位には特段のご理解と今後の発展に向けて一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。また日頃より当財団の活動に対して幸甚なるご支援を賜っているセイコーインスツル株式会社に対して厚く御礼申し上げます。次第です。

### 【招待講演】

- 小泉英明氏 評議員、(株)日立製作所 名誉フェロー  
「脳科学から見た創造性・先端性とは？」  
ーロードマップによる線形研究の限界を超えるー
- 川合眞紀氏 自然科学研究機構 機構長  
「教育・研究に求められる国際化・オープン化そして自律性」
- 藤井啓祐氏 大阪大学大学院基礎工学研究科 教授  
「量子コンピューティングが拓く未来社会」



<小泉英明氏>



<川合眞紀氏>



<藤井啓祐氏>

【奨励賞 授与式と受賞講演】

松尾貞茂 理化学研究所創発物性科学研究センター  
「並列ジョセフソン接合間に流れる  
非局所超伝導電流の制御」

外間進悟 京都工芸繊維大学応用科学課程  
「細胞内ナノ領域に生じる温度を  
計測可能な量子センサーの創出」



【5 研究会開催】



(委員長)

スピントロニクス研究会 (齊藤英治 東京大学)  
バイオ単分子研究会 (渡邊力也 理化学研究所)  
ナノカーボン研究会 (丸山茂夫 東京大学)  
界面ナノ科学研究会 (柴田直哉 東京大学)  
ナノメカニクス研究会 (都甲 潔 九州大学)

【研究助成成果発表】

日置友智 東京大工学系研究科物理工学専攻 助教  
「ナノ磁性体を基盤とした磁化状態トモグラフィ法の開拓」

田中正樹 東京農工大学大学院工学研究院生命工学専攻 助教  
「成膜過程表面における分子配列制御」

稲葉央 鳥取大学学術研究院工学系部門応用化学講座 准教授  
「ペプチドを用いたタンパク質繊維内包微小管の創製」

川脇徳久 東京理科大学理学部応用化学科 講師  
「金属ナノクラスター連結体による次世代電子材料の創製」

江部日南子 山形大学学術研究院理学部主担当 助教  
「精密重合を用いた超集積ペロブスカイト量子ドットレーザー」



<食事中も研究質疑>



<講演者を囲み深夜まで討論>



<屋上からの絶景>



## 第1回ATFコンファレンス 報告 < 概要 >

概ね計画通り:: 参加予測70人⇒実績79人、予算550万円⇒実績561万円

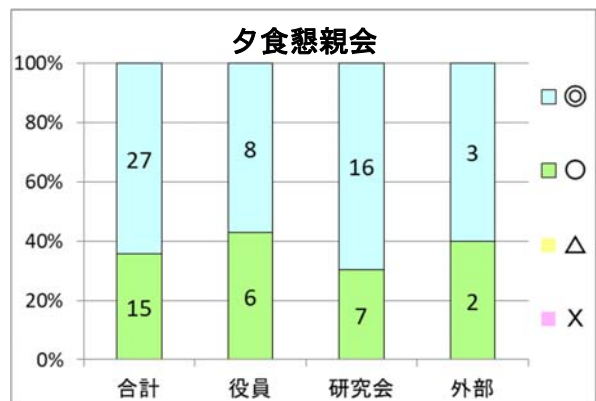
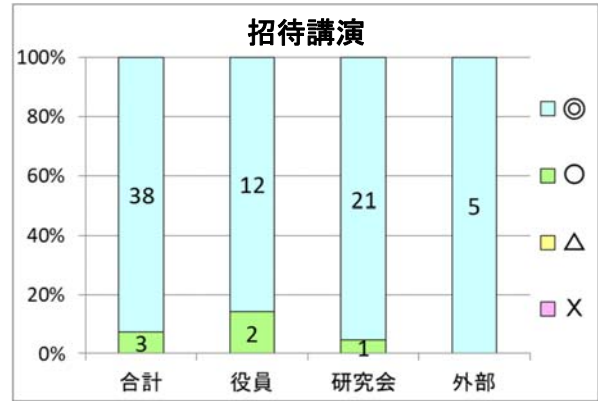
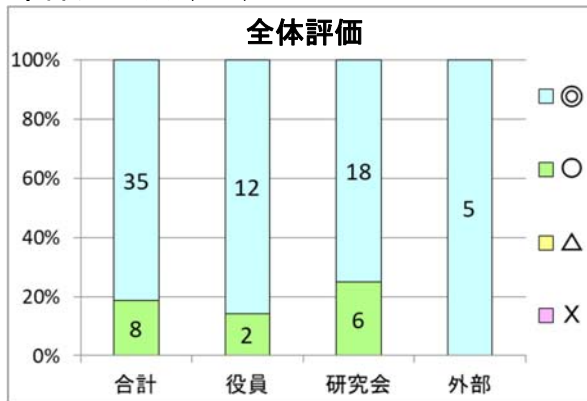
人数	区分		参加者	対象者	参加率	
	合計					
	合計		79人	—	—	12日 宿泊 74人 13日 OUT 24人 IN 5人 宿泊 55人 14日名古屋で ハイオ関係学会あり ハイオ研8人13日Out
	財団関係者 計		73人	100人	73%	
	研究会員		49人	70人	70%	
	評議員・理事		18人	26人	69%	
	研究助成・奨励賞		7人	7人	100%	
	選考委員(外部)		1人	3人	33%	
	兼務者調整		-2人	-4人	—	
	講演者(外部)		2人	—	—	
	事務局		4人	—	—	

費用 (万円)	区分		予算	実績	差異	
	合計	万円				
	合計		550	561	+11	ほぼ予算通り
	宿泊費(2食付)		220	217	-3	
	会議費		160	172	+12	
	交通費		150	151	+1	
	謝金(講演・座長)		20	21	+1	

## < アンケート評価 >

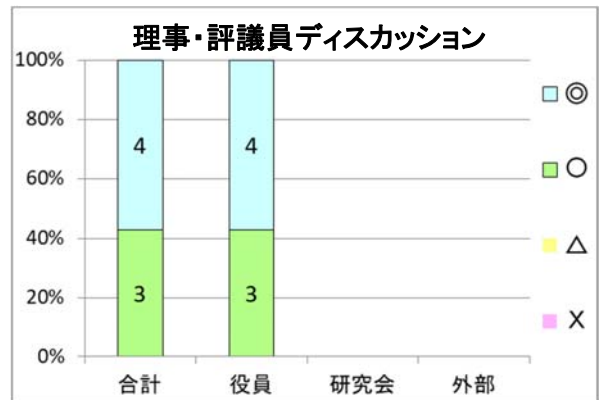
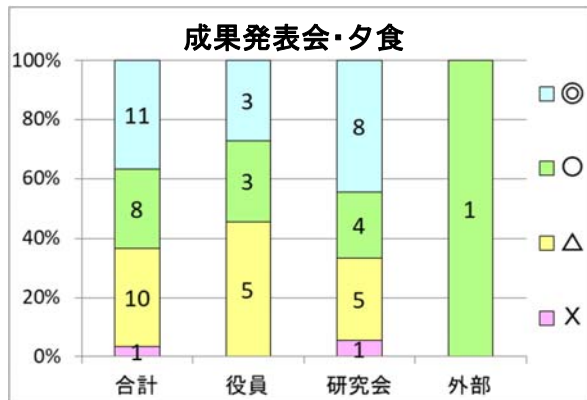
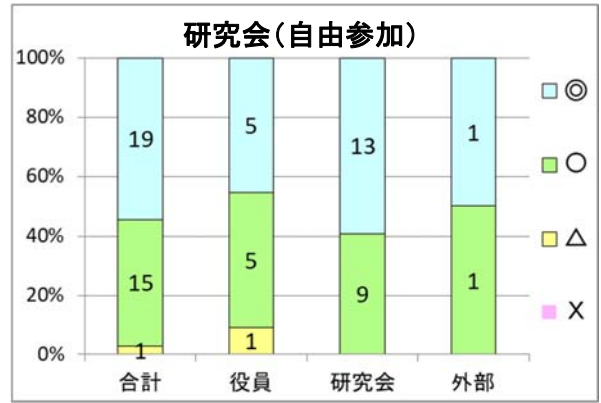
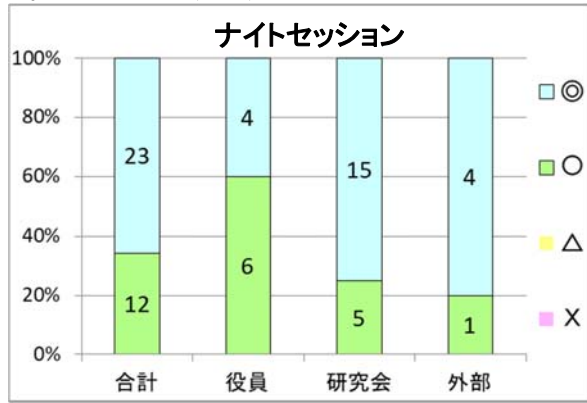
回収=43人 (57%)

外部=招待者・助成関係者



回収=43人 (57%)

外部=招待者・助成関係者



### <アンケート 今後の研究会テーマ案>

#### アンケート結果

分野	件数	テーマ案
量子	7	量子情報、量子スピントロニクス、量子技術、量子計算 量子物性、同デバイス応用、量子コンピュータ
バイオ	4	脳科学、細胞内ナノ計測、ナノバイオ 細胞内物理化学場(温度、pH、粘度等)の計測
ナノ	8	スピン、界面、エントロピ、先端計測、2次元材料、モアレ構造 広げたスピントロニクス、ナノ・マイクロ関係新研究
情報・AI	5	情報計測、AI、機械学習、生成AI(できる事/できない事)、AI
他	2	ライフサイエンス(生物そのものでないところ)、 非平衡熱力学

#### 新研究会(第11期2024~)キーワード

量子物質	トポロジカル物性、低次元物質、強相関係、スピン、カーボン
高機能センサ	化学センサ、バイオセンサ、量子センサ、スピンセンサ、熱センサ、 カセンサ、NVセンター、2光子励起、マルチモーダル、AI、定量測 定、機能アッセイ